

分子医療研究室

室長 山崎麻美

当研究室の主な研究課題は、①先天性水頭症の分子遺伝子学的研究②胎児期水頭症の診断と治療ガイドライン確立③胎児診断における難治性脳形成障害症の診断基準の作成である。

① 先天性水頭症の分子遺伝子学的研究

これまで当研究室においてX連鎖性遺伝性水頭症 59 家系における神経接着因子 *L1CAM* 遺伝子異常を同定してきた。全世界でも約 200 家系においてのみ *L1CAM* 遺伝子異常が同定されているに過ぎないので、全世界的にも *L1CAM* 遺伝子解析の拠点になっている。さらに最近では、*L1* 遺伝子異常が明らかにならなかった群で、アレイ CGH を用いて網羅的な遺伝子解析の方法を用いた検索を開始している。X連鎖性遺伝性水頭症における出生前診断についてはこれまで 11 回実施してきた。この方法については確立し論文として発表している。

② 胎児期水頭症の診断と治療ガイドライン確立

平成 22 年 10 月に胎児期水頭症の診断と治療のガイドライン改訂第 2 版を発行した。現在、胎児期水頭症のガイドライン英語版発行準備中である。

③ 胎児診断における難治性脳形成障害症の診断基準の作成

多施設共同研究として、①胎児診断における難治性脳形成障害症の診断基準の作成、及び②新規治療法開発に向けた病態解析研究を支援する、臨床病態、画像情報、遺伝子情報、患者由来生体試料（組織・細胞・DNA）などのデータバンクの構築を目的として開始した。班会議独自のデータサーバー**難治性脳形成障害症（fetal brain malformation）** (<http://fms.fetal-brain-malformation.jp>) を立ち上げた。サーバーが立ちあがってから、2009 年 12 月～2011 年 2 月 の間に、症例登録協力施設 17 施設から 108 件が登録された。**画像解析診断**は、小児神経放射線科のエキスペルトで構成し、43 の読影レポートが完成している。患者生体試料は、15 施設から合計 123 検体の試料の提供を受け、DNA 試料 54 検体、培養細胞試料 69 検体を分離・樹立し、各々保管した。胎児診断における難治性脳形成障害症の診断基準の作成を目的として開始した本研究班が採用したシステムは、画期的で、今後の希少疾患のコンサルテーションシステムの構築の参考になる。来年度は、症例登録を目標数まで達成し、遺伝子解析、病理解析、病態解析を進めての結果を踏まえた症例の整理と、2 歳児の予後調査を行う。それを診断基準の作成へと結び付けていく

これらの集積された臨床病態、画像情報、遺伝子情報、患者由来生体試料（組織・細胞・DNA）などのデータバンクは、今後、難治性脳形成障害症の病態解析、予防法の確立、新規治療法開発の研究に大きく貢献するものである。

【平成 22 年度研究発表業績】

A-0

Bamba Y, Nonaka M, Nakajima S, Yamasaki M. Three dimensional-reconstructed CT-MR fusion image-based preoperative planning for surgical procedures for spinal lipoma or tethered spinal cord after myelomeningocele (MMC) repair. *Neurol Med Chir(Tokyo)* 2011;51(5) in press

Itoh K, Yaoi T, Yoshifuji K, Pooh R, Yamasaki M, Fushiki S. Semilobar holoprosencephaly with a unique

traversed sylvian sulcus. Neuropathol Appl Neurobiol 2011;1365-2990 (2011 年 1 月)

Yamanaka K, Ishihara M, Nakajima S, Yamasaki M, Yoshimine T. Coil embolization of a traumatic intracranial aneurysm of the distal part of the azygos anterior cerebral: Report of a case followed up for 4 years. Neurol Med Chir(Tokyo): in press

Yamanaka K, Ishihara M, Nakajima S, Yamasaki M, Yoshimine T. Brain abscess following intra-arterial thrombolytic treatment for acute brain ischemia: A case report. Joranal of Clinical Neuroscience :in press

Ishihara M, Yamanaka K, Nakajima S, Yamasaki M: Intracranial hemorrhage after intra-arterial administration of fasudil for treatment of cerebral vasospasm following subarachnoid hemorrhage: a serious adverse event. Neuroradiology, published online: 24 March 2011 (2011 年 3 月)

A-1

山崎麻美：「胎児期水頭症 診断と治療ガイドライン改訂 2 版」 山崎麻美編集代表、金芳堂、京都、2010 年 11 月 1 日

山崎麻美：ガイドラインが目指すもの「胎児期水頭症 診断と治療ガイドライン改訂 2 版」山崎麻美編集代表、1-5、金芳堂、京都、2010 年 11 月 1 日

山崎麻美：水頭症とは「胎児期水頭症 診断と治療ガイドライン改訂 2 版」山崎麻美編集代表、13-21、金芳堂、京都、2010 年 11 月 1 日

山崎麻美：先天異常の中での胎児期水頭症の占める位置「胎児期水頭症 診断と治療ガイドライン改訂 2 版」山崎麻美編集代表、22--24、金芳堂、京都、2010 年 11 月 1 日

山崎麻美：脳室拡大を主な所見とする水頭症「胎児期水頭症 診断と治療ガイドライン改訂 2 版」山崎麻美編集代表、95-103、金芳堂、京都、2010 年 11 月 1 日

山崎麻美：全前脳胞症「胎児期水頭症 診断と治療ガイドライン改訂 2 版」山崎麻美編集代表、128-135、金芳堂、京都、2010 年 11 月 1 日

山崎麻美：二分頭蓋「胎児期水頭症 診断と治療ガイドライン改訂 2 版」山崎麻美編集代表、136-141、金芳堂、京都、2010 年 11 月 1 日

近藤厚生、山崎麻美：葉酸について「胎児期水頭症 診断と治療ガイドライン改訂 2 版」山崎麻美編集代表、203-210、金芳堂、京都、2010 年 11 月 1 日

山崎麻美：患者団体「胎児期水頭症 診断と治療ガイドライン改訂 2 版」山崎麻美編集代表、224-225、金芳堂、京都、2010 年 11 月 1 日

山崎麻美：二次病院リスト「胎児期水頭症 診断と治療ガイドライン改訂2版」山崎麻美編集代表、226-237、金芳堂、京都、2010年11月1日

山崎麻美：胎児診断された水頭症の治療方針は？「EBM 脳神経外科疾患の治療」 2011-2012 宮本 享、新井 一、鈴木倫保、渋谷壮一郎、中瀬裕之、338-343、中外医学社、東京、2010年10月30日

山崎麻美：水頭症「リハビリテーションポケットマニュアル」診断と治療社、東京印刷中

A-2

山崎麻美、埜中正博：脳室腹腔シャント（V-P シャント術）「脳神経外科臨床マニュアルⅡ 改訂第4版」 端 和夫、680-692、シュプリンガー・ジャパン、東京、2010年7月17日

埜中正博、山崎麻美：テント上腫瘍-胚細胞腫-「NS NOW 小児脳神経外科手術-安全な手術のコツを伝授-」新井 一、11：142-151、メジカルビュー社、東京、2010年8月20日

中島 伸、池田正行、大西弘高、加藤一朗、金井伸行、久保光司、香村安健、佐藤 健一、焦 昇、杉原 桂、高橋優二、土肥直樹、林 啓一、前野哲博、松木孝和、水島孝明、三原 弘、村上 純、矢野敬文：「症候診断トレーニング DS」症候診断トレーニング DS 制作委員会 監修・編著、メディカ出版、吹田、2010年12月

A-3

渡辺悠里子、松本久宣、神谷まひる、松原尚子、伊東裕子、西村史朋、宮崎有美子、佐々木浩呂江、八木治彦、山田成利、岡垣篤彦、細木拓野、伴千秋：リンパ節転移の術前診断における PET-CT の有用性「産婦人科の進歩」62：P.273-276、2010年4月

馬場庸平、埜中正博、永野大輔、尾崎友彦、押田奈都、角野喜則、山際啓典、金村米博、山中一功、森内秀祐、中島 伸、山崎麻美：レジデント教育への手術計画ソフトウェア iPlan cranial の活用「脳神経外科速報」脳神経外科編集委員会、21（3）：P.310-314、メディカ出版、大阪、2011年3月10日

山崎麻美、埜中正博、馬場庸平、寺元千佳、伴 千秋、夫 律子：胎児期水頭症の診断と治療および長期予後「脳神経外科ジャーナル」印刷中

A-4

山崎麻美：出会いがくれた飛躍「小児科診療」73（8）：P.1426-1427、2010年8月1日

山崎麻美：先天性水頭症の長期予後「周産期医学」40（8）：P.1197-1201、2010年8月10日

山崎麻美、埜中正博：頭部外傷—事故か？虐待か？「小児内科」42（11）：P.1786-1791、2010年11月1日

山崎麻美：小児脳神経外科領域における遺伝子診断「NEUROLOGICAL SURGERY 脳神経外科」39（1）：P.65-77、2011年1月10日

山崎麻美：Book Review どう診る？どう対応する？乳幼児の頭部外傷と虐待 救急医療チームがおさえておきたい診断・治療・予防のポイント「脳神経外科速報」21（2）：P.218、2011年2月10日

山崎麻美：先天性水頭症と二分脊椎 「小児神経学の進歩」 印刷中

A-5

山崎麻美：胎児診断における難治性脳形成障害症の診断基準の作成。厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）「胎児診断における難治性脳形成障害症の診断基準の作成」平成22年度総括・分担研究報告書、印刷中、2011年3月

金村米博：難治性脳形成障害症患者由来生体試料の収集とそのバンク化に関する研究。厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）「胎児診断における難治性脳形成障害症の診断基準の作成」平成22年度総括・分担研究報告書、印刷中、2011年3月

A-6

山崎麻美：小児脳神経外科医から小児科医へのメッセージ「大阪小児科医会会報」11-17、2010年4月

中島 伸：脳外科 Q&A 明るいなやみ相談室（第2回）「脳神経外科速報」20(4):490、2010年4月

中島 伸：脳外科 Q&A 明るいなやみ相談室（第3回）「脳神経外科速報」20(5):592、2010年5月

中島 伸：脳外科 Q&A 明るいなやみ相談室（第8回）「脳神経外科速報」20(9):1205、2010年10月

中島 伸：脳外科 Q&A 明るいなやみ相談室（第9回）「脳神経外科速報」20(10):1321、2010年10月

中島 伸：脳外科 Q&A 明るいなやみ相談室（第10回）「脳神経外科速報」20(12):1441、2010年12月

中島 伸 : 脳外科 Q&A 明るいなやみ相談室 (第 12 回)「脳神経外科速報」21(2):219、2011 年 2 月

中島 伸 : Book Review “症候診断トレーニング DS できる! プライマリ・ケア やれる! アセスメント”「脳神経外科速報」21(3):337、2011 年 3 月

中島 伸 : 中心性脊髄損傷について「レジデントノート」12(1):150-152、2010 年 4 月

中島 伸 : CICV について「レジデントノート」12(3):556-558、2010 年 5 月

中島 伸 : 研修医のための頭部外傷初期診療概念図「レジデントノート」12(4):720-722、2010 年 6 月

中島 伸 : あと 1 歩の踏み込み「レジデントノート」12(5):870-872、2010 年 7 月

中島 伸 : 低ナトリウム血症の補正「レジデントノート」12(7):1287-1289、2010 年 8 月

中島 伸 : ”モンスター患者”対策「レジデントノート」12(8):1448-1450、2010 年 9 月

中島 伸 : 余命 1 ヶ月の花嫁「レジデントノート」12(9):1608-1610、2010 年 10 月

中島 伸 : 教育を楽しむ「レジデントノート」12(11):2015-2017、2010 年 11 月

中島 伸 : 頭痛診断に CT/MRI は必要か? 「レジデントノート」12(12):2154-2156、2010 年 12 月

中島 伸 : 手術室で「あってはならない」3 つの出来事(その 1)「レジデントノート」12(13):2310-2312、2011 年 1 月

中島 伸 : 手術室で「あってはならない」3 つの出来事(その 2)「レジデントノート」12(15):2717-2719、2011 年 2 月

中島 伸 : スライド発表におけるイラスト作成法「レジデントノート」12(16):2886-2887、2011 年 3 月

B-1

Yamasaki M. The research into molecular biology and stem cell research in hydrocephalus. The Korean society for pediatric neurosurgery 2010 , Seoul, Korea, 2010 年 5 月

Yamasaki M. Head trauma due to child abuse in Japan. The Korean society for pediatric neurosurgery 2010,

Seoul, Korea, 2010 年 5 月

Kanemura Y. Stem cell research of congenital central nervous system malformations in pediatric neurosurgery. International Symposium on Fetal Neurology, Osaka, Japan, 2010 年 10 月

Yamasaki M. For the establishing of criteria in prenatal diagnosis of intractable fetal brain malformation. 6th International Academy of Perinatal medicine, Scientific Program International Symposium on Fetal Neurology, Osaka, Japan, 2010 年 10 月

B-2

Yamasaki M, Nonaka M, Shofuda T, Kanemura Y. Prenatal molecular diagnosis and stem cell research in severe type of L1CAM syndrome(X-linked hydrocephalus).5th International Hydrocephalus Workshop, Crete, Greece, 2010 年 5 月

Yamasaki M, Nonaka M, Shofuda T, Kanemura Y. Prenatal molecular diagnosis and stem cell research in severe type of L1CAM syndrome(X-linked hydrocephalus). 15th International conference on prenatal diagnosis and therapy. Amsterdam, Netherlands, 2010 年 7 月

Yamasaki M, Nonaka M, Bamba Y, Teramoto C, Pooh R. Evaluation of prenatal diagnosis of isolated ventriculomegaly. Society for research into hydrocephalus and spina bifida 54th Annual scientific meeting. Vancouver bc,Canada, 2010 年 7 月

Yamasaki M : Malformation of brain and hydrocephalus .6th International Academy of Perinatal medicine, Scientific Program International Symposium on Fetal Neurology . Osaka, Japan, 2010 年 10 月

Teramoto C, Nonaka M, Bamba Y, Eino D, Yamasaki M. Prenatal and postnatal family support for congenital hydrocephalus. 6th International Academy of Perinatal medicine, Scientific Program International Symposium on Fetal Neurology . Osaka, Japan, 2010 年 10 月

Bamba Y, Nonaka M, Kodama Y, Ueno K, Tawa A, Sheyne M, Nakajima S, Pooh R, Yamasaki M. Prenatal diagnosis of a fetal intracranial infantile fibrosarcoma. 6th International Academy of Perinatal medicine, Scientific Program International Symposium on Fetal Neurology , Osaka,Japan 2010 年 10 月

Oshida N, Nonaka M, Bamba Y, Nakajima S, Yamasaki M, Pooh R. Semilobar holoprosencephaly due to mutation in ZIC2 gene. 6th International Academy of Perinatal medicine, Scientific Program International Symposium on Fetal Neurology , Osaka, Japan, 2010 年 10 月

Nonaka M, Banba Y, Oshida N, Eino D, Nakajima S, Yamasaki M. Effect of untethering surgery for lower back pain and limbic pain due to tethered cord. 38th Annual meeting of the international society for pediatric neurosurgery ISPN2010, Jeju, Korea, 2010 年 11 月

Bamba Y, Nonaka M, Oshida N, Nakajima S, Yamasaki M. Usefulness of preoperative planning with multimodal fusion three-dimensional reconstructed image for pediatric neurosurgery .38th Annual meeting of the international society for pediatric neurosurgery ISPN2010, Jeju , Korea, 2010 年 11 月

Oshida N, Nonaka M, Banba Y, Nakajima S, Yamasaki M. Spontaneous regression and progression of intracranial cyst: report of 7 cases. 38th Annual meeting of the international society for pediatric neurosurgery ISPN2010, Jeju, Korea, 2010 年 11 月

Yamasaki M. Medical problems in adulthood spina bifida patients. 38th Annual meeting of the international society for pediatric neurosurgery ISPN2010, Jeju, Korea, 2010 年 11 月

B-3

山崎麻美、埜中正博、金村米博、夫 律子：胎児期水頭症の診断と治療および長期予後。
第 30 回日本脳神経外科コンgres総会、横浜、2010 年 5 月

埜中正博、永野大輔、馬場庸平、尾崎友彦、中島 伸、山崎麻美：乳児硬膜下血腫の受傷機転の推測についての検討-事故か、それとも虐待か?-。第 38 回日本小児神経外科学会、富山、2010 年 6 月

埜中正博、寺元千佳、永野大輔、馬場庸平、尾崎友彦、中島 伸、山崎麻美：脊髄髄膜瘤における出生前診断と分娩形態についての検討。第 38 回日本小児神経外科学会、富山、2010 年 6 月

埜中正博、馬場庸平、尾崎友彦、永野大輔、山際啓典、中島 伸、山崎麻美：脊髄脂肪腫手術における周術期合併症と術後係留による症状出現の検討。第 38 回日本小児神経外科学会、富山、2010 年 6 月

山崎麻美：成人期二分脊椎症患者の抱える医学的問題。第 27 回日本二分脊椎研究会、大阪、2010 年 7 月

山崎麻美：虐待による乳幼児頭部外傷～臨床医学と法医学および児童相談所や警察検察との連携～。
第 2 回日本子ども虐待医学研究会、小倉（北九州）、2010 年 7 月

馬場庸平、埜中正博、永野大輔、角野喜則、山際啓典、押田奈都、山中一功、中島 伸、山崎麻美：手術計画ソフトウェア“iPlan”による三次元手術計画の有用性と応用。社団法人 日本脳神経外科学会第 69 回学術総会、福岡、2010 年 10 月

埜中正博、馬場庸平、永野大輔、押田奈都、中島 伸、山崎麻美：係留脊髄に対する外科的治療の役割と周術期合併症についての検討。社団法人 日本脳神経外科学会第 69 回学術総会、福岡、2010 年 10 月

中島 伸：いわゆるモンスター患者への対処。日本臨床麻酔科学会、徳島、2010年11月

埜中正博、馬場庸平、寺元千佳、押田奈都、永野大輔、角野喜則、中島 伸、山崎麻美：小児水頭症に対する内視鏡治療の選択。第17回日本神経内視鏡学会、千葉、2010年12月

B-4

埜中正博、馬場庸平、永野大輔、尾崎友彦、中島 伸、山崎麻美：乳児期の悪性脳腫瘍に対する集学的治療。第38回日本小児神経外科学会、富山、2010年6月

寺元千佳、埜中正博、尾崎友彦、馬場庸平、永野大輔、山崎麻美：水頭症の子どもたちの就園・就学に関する調査。第38回日本小児神経外科学会、富山、2010年6月

馬場庸平、埜中正博、中島 伸、山崎麻美：CT-MR fusion 3D画像を使用した小児脳神経外科手術計画の有用性。第38回日本小児神経外科学会、富山、2010年6月

馬場庸平、埜中正博、中島 伸、山崎麻美：CT-MR fusion 3D画像を使用した脊髄係留解除術の術前計画の有用性。第38回日本小児神経外科学会、富山、2010年6月

埜中正博、馬場庸平、永野大輔、山際啓典、山崎麻美、中島 伸：上錘体静脈洞を切断しない partial presigmoid approach Partial presigmoid approach presigmoid approach preserving the superior petrosal sinus。第22回日本頭蓋底外科学会、久留米（福岡）、2010年7月

馬場庸平、埜中正博、中島 伸、山崎麻美：大後頭孔・頭蓋頸椎移行部の外科手術における三次元再構成 CT-MR 融合画像を使用した手術計画の有用性。第22回日本頭蓋底外科学会、久留米（福岡）、2010年7月

埜中正博、馬場庸平、押田奈都、永野大輔、角野喜則、中島 伸、山崎麻美：思春期・青年期における脊髄係留症例の下肢痛、腰痛に対する係留解除術の有用性。第27回日本二分脊椎研究会、大阪、2010年7月

寺元千佳、埜中正博、馬場庸平、永野大輔、山崎麻美：二分脊椎の子どもたちの就園・就学に関する調査を実施して。第27回日本二分脊椎研究会、大阪、2010年7月

馬場庸平、埜中正博、押田奈都、中島 伸、山崎麻美：CT-MRI 融合三次元再構成画像を使用した二分脊椎症手術の手術計画の有用性。第27回日本二分脊椎研究会、大阪、2010年7月

埜中正博：ずれにくいマーカーを使用したニューロナビゲーター支援脳腫瘍摘出術。第15回日本脳腫瘍の外科学会、大阪、2010年10月

山崎麻美：先天性水頭症。社団法人 日本脳神経外科学会第69回学術総会、福岡、2010年10月

永野大輔、埜中正博、馬場庸平、角野喜則、押田奈都、山際啓典、山崎麻美、中島 伸：
ニューロナビゲーター支援手術に用いるためのずれにくいマーカの開発と臨床応用。社団法人
日本脳神経外科学会第 69 回学術総会、福岡、2010 年 10 月

山中一功、山際啓典、押田奈都、馬場庸平、永野大輔、角野喜則、中島 伸：頸動脈ステント留置
術（CAS）承認後の protection device の違いによる中長期成績。社団法人 日本脳神経外科学会第
69 回学術総会、福岡、2010 年 10 月

埜中正博、馬場庸平、押田奈都、中島 伸、山崎麻美：内視鏡による治療を実施した頭蓋内嚢胞に
伴う乳児水頭症の 3 例。第 28 回日本こども病院神経外科医会、千葉、2010 年 11 月

馬場庸平、押田奈都、埜中正博、中島 伸、山崎麻美：2 歳時にシャント抜去に至った脊髄髄膜瘤
随伴水頭症の 1 例。第 28 回日本こども病院神経外科医会、千葉、2010 年 11 月

押田奈都、寺元千佳、埜中正博、馬場庸平、中島 伸、山崎麻美：胎児診断された重度心奇形を合
併する全前脳胞症の 1 例。第 28 回日本こども病院神経外科医会、千葉、2010 年 11 月

山中一功、山際啓典、角野喜則、永野大輔、馬場庸平、押田奈都、中島 伸：Neuronavigation
software“iPlan”による無造影頸動脈 STENT 留置術（CAS）。第 26 回日本脳神経血管内治療学会、小
倉（北九州）、2010 年 11 月

山際啓典、山中一功、角野喜則、永野大輔、馬場庸平、押田奈都、金村米博、埜中正博、中島 伸、
山崎麻美：True P-com.AN.に対してコイル塞栓術を行った 5 例。第 26 回日本脳神経血管内治療学会、
小倉（北九州）、2010 年 11 月

埜中正博：ずれにくいマーカを使用してニューロナビゲーター支援下神経膠腫摘出術。第 28 回
日本脳腫瘍学会学術集会、軽井沢、2010 年 11 月

馬場庸平、埜中正博、押田奈都、中島 伸、山崎麻美：神経内視鏡支援下脊髄係留解除手術の有用
性とその工夫。第 17 回日本神経内視鏡学会、千葉、2010 年 12 月

B-5

山崎麻美：小児救急医療における虐待による頭部外傷とその対応。第 9 回大阪小児救急医療フォー
ラム、大阪、2010 年 5 月

山崎麻美：虐待による小児頭部外傷の診断と治療。第 40 回新潟小児神経学研究会、新潟、2011 年
2 月

B-6

永野大輔、埜中正博、坂東裕基、上平朝子、白阪琢磨、山崎麻美、中島 伸：生検によって診断確定に至った進行性多巣性白質脳症の一例。第 71 回近畿脳腫瘍研究会、大阪、2010 年 4 月

永野大輔、埜中正博、坂東裕基、上平朝子、白阪琢磨、山崎麻美、中島 伸：生検によって診断確定に至った進行性多巣性白質脳症の一例。第 59 回日本脳神経外科学会 近畿支部学術集会、大阪、2010 年 4 月

押田奈都、埜中正博、角野喜則、永野大輔、馬場庸平、山際啓典、金村米博、山中一功、山崎麻美、中島 伸：板間層から発生した巨大類上皮腫の一例。第 60 回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会、千里（大阪）、2010 年 9 月

角野喜則、埜中正博、永野大輔、馬場庸平、押田奈都、山際啓典、金村米博、山中一功、山崎麻美、中島 伸：覚醒下手術により摘出を行った言語野海綿状血管腫の 2 例。第 60 回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会、千里（大阪）、2010 年 9 月

B-7

山際啓典、埜中正博、角野喜則、永野大輔、馬場庸平、押田奈都、金村米博、山中一功、中島 伸、山崎麻美、櫛原新平、東野正明、林伊吹、川上理郎：頭蓋内に進展した篩骨洞癌に対して trans basal approach および endonasal approach を用いて腫瘍摘出を行った一例。第 69 回大阪大学脳神経外科関連施設臨床懇話会、千里（大阪）、2010 年 7 月

山崎麻美：頭部外傷分析と地域システムの研究。科学技術振興（JST）社会技術研究開発センター（RISTEX）犯罪からの子どもの安全シンポジウム「子どもたちを虐待からまもる」 東京、2010 年 7 月

山崎麻美、埜中正博、馬場庸平、松延 咲、中島 伸：小児虐待による頭部外傷の特徴—事故と虐待の鑑別。科学技術振興機構（JST）社会技術研究開発センター（RISTEX）犯罪からの子どもの安全シンポジウム「子どもたちを虐待からまもる」、東京、2010 年 12 月

B-8

山中一功：当院における脳卒中搬送患者の現状と頸動脈 STENT 留置術における最近の試み。第 3 回大阪市中央エリア HD 連携の会、大阪、2010 年 4 月

中島 伸：医療安全の基本知識 ～歴史を知る～。国立病院機構近畿ブロック事務所平成 22 年度医療安全管理者養成研修会、大阪、2010 年 5 月

中島 伸：医療における教育手法について 研修医教育のツール～寺子屋～。平成 22 年度国公立大学附属病院医療安全セミナー、大阪、2010 年 6 月

中島 伸：診療部門の現状。国立病院機構近畿ブロック事務所、平成 22 年度 2 年目事務職研修会、

大阪、2010年6月

中島 伸：教育を楽しむ。国立病院機構近畿ブロック事務所、平成22年度3年目以上看護教員研修会、大阪、2010年7月

山崎麻美：小児の脳をめぐる最近の話題。小児内分泌女性医師の会第1回セミナー、東京 2010年9月

山崎麻美：先天性水頭症と二分脊椎。第40回小児神経外科学セミナー、神奈川、2010年9月

尾崎由和：HIV感染妊婦からの出生児の現状 —非感染児と感染児のフォローアップ—。「HIV感染妊婦とその出生児の調査・解析および診療・支援体制の整備に関する総合的研究」班 研究成果発表会、奈良、2010年11月

中島 伸：プライマリケアに生かす神経学的所見のとり方。平成22年度日本医師会生涯教育講座病院実習、大阪、2010年10月

山崎麻美：救急医療における小児の虐待対応。淀川キリスト病院ブランウン記念講演会、大阪、2010年11月

中島 伸：適切な診療録記載。国立病院機構福井病院医療安全研修、敦賀、2010年11月

中島 伸：医療安全の歴史。国立病院機構近畿ブロック事務所平成22年度医療安全管理者養成研修会、大阪、2010年12月

中島 伸：医療安全の基本知識。国立病院機構近畿ブロック事務所平成22年度医療安全管理者養成研修会、大阪、2010年12月

中島 伸：記者会見の準備。国立病院機構近畿ブロック事務所平成22年度医療安全管理者養成研修会、大阪、2010年12月

中島 伸：医事紛争防止のための工夫。国立病院機構大阪南医療センターサービス向上研修会、河内長野、2010年12月

山崎麻美：女性医師支援策について。平成22年度勤務医部会 第8～11ブロック合同懇談会、大阪、2011年2月

山崎麻美：小児虐待における頭部外傷 大阪地方検察庁講演会、大阪、2011年2月

B-9

山中一功：巨人・木村コーチくも膜下出血で重体。よみうりテレビ「情報ライブ ミヤネ屋」、大阪、2010年4月5日

山中一功：脳卒中の恐怖～巨人・木村コーチ「くも膜下出血」死亡～。よみうりテレビ「情報ライブ ミヤネ屋」、大阪。2010年4月7日

山中一功：くも膜下出血の症状・治療法など。よみうりテレビ「かんさい情報ネット ten!」、大阪、2010年4月7日

山中一功：くも膜下出血。産経新聞、大阪、2010年6月

山中一功：「幼い命を救え」～虐待・医療現場の模索～。ニューステラス関西（NHK 総合）大阪、2010年6月23日

山崎麻美：幼い命を“科学”で救え～虐待を見分ける現場の模索～。おはよう日本（NHK ニュース）、2010年7月15日

山崎麻美：虐待見極めに科学の目。中日新聞、愛知、2010年8月5日

山崎麻美：幼い命を救え 科学データで浮かび上がる虐待の証し。関西テレビ、大阪、2010年8月23日